

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
Firstみるく		R7年 3月 18日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		利用人数に応じて、効果的にレッスンが行えるようにしています	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		こどもの状態に応じて、柔軟に職員を配置できるようにしています	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	こどものやりたいことがすぐできるよう必要な遊具や教材が自分で取り出せる位置に保管しています。また、こどもがどこにいても状況を把握できるようにしており、玄関以外は、バリアフリーになっています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		レッスン前後は、換気、清掃し、使用する遊具や備品の収納位置を決め、こどもたちが活動しやすいように整理整頓を心掛けています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		集団から離れて、気持ちの切り替えができるスペースを確保しています	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		レッスンごとに担当スタッフ間で目標確認、振り返りをして次の支援に繋げられるようにしています	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎年1回のアンケートやその都度出てきたニーズに対応できるよう業務改善に努めています	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		週1回のミーティング時だけでなく、その都度意見を出し合い、業務改善に繋げるようにしています	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	当事業所には、第三者機関による外部評価は義務付けされていませんが、法人の代表や他事業所の職員に現状を評価してもらい業務改善に繋げています	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		毎年、外部講師を招いた法人全体の研修や事業内での勉強会を設け、職員の資質向上に努めています	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		職員間で確認し合い、事業所独自の支援プログラムを作成・公表しています	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		こどもの様子を丁寧に観察し、保護者のニーズや課題の解決に繋がるよう計画を作成しています	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		全ての職員で支援法を確認し合い、共通理解の下に計画が作成されています	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		レッスン前後に支援計画の目標の確認と振り返りを行い、支援に繋げられるようにしています	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		外部で実施した知能検査等の検査結果・報告も参考にしながら、標準化されたツールも用いてアセスメントを行っています	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		児童発達支援管理責任者がガイドラインに沿って計画をまとめ、職員にも周知しています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員がそれぞれ意見を出し合い、検討後計画を作成しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		季節の行事、自然や文化に触れられる特別プログラムも取り入れています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		こどもの状況だけでなく、保護者の状況も見ながらより良い支援に繋がるようレッスンを組み立てています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		その日、支援に入らない職員も一緒に事前打ち合わせに参加し、児童理解に努めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		レッスン終了後は、それぞれの対応の仕方を振り返り次の支援に繋げています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		計画に沿って、支援内容やこどもの様子を記録し、次の支援に繋がるような記録になるよう努めています	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		状況に応じて、計画の見直しが必要な場合は、作成し直しています	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		レッスンでこどもと関わったり、保護者とも情報共有しながら子ども理解に努め、会議に参加するようにしています	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		こどもの支援に関わる機関とは、できるだけ連携していきたいと思っています	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		こどもの状況に応じて、可能な範囲でインクルージョンの中でいろいろな体験ができるよう提案しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		就学前に会議を行い、スムーズに移行できるようにしています	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	5		レッスンを見学してもらい、支援方法について助言を受けています	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	保育園や幼稚園などとの交流の機会はないが、利用している公園で地域のこどもや大人との交流する機会を持つようにしています	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時や電話、LINEなども利用し日頃の様子を互いに情報共有するよう努めています	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		代表理事による勉強会や外部講師による研修会に案内しています	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に説明し、質問があれば、お答えしています	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		事前にヒアリングシートを記入して頂いた後、詳しく話を聞くようにしています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		児童発達支援計画作成後は、保護者に説明を行った後、了承を得てサインを頂いています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		支援計画更新の際だけでなく、送迎時にも話をするようにし、相談等あれば対応しています	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		特別プログラムや親子クラス、茶話会等を通して、保護者同士や兄弟同士の交流の場を設けています	
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		こどもや保護者からの相談や申し入れがあった場合には、すぐに対応可能であればその場で対応し、すぐできないことでも、できるだけ早く対応できるように心掛けています	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1	HPを開設し、活動の様子や行事予定の情報は、LINEでお伝えするようにしている	定期的に活動の様子や情報等の発信が、効果的に行えるようにしていきたい
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報は、鍵付きの書棚に保管し、取り扱いに配慮しています。また、職員には、外部に漏らさないように雇用契約を結んでおります。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		利用者の特性に応じた伝達の仕方を工夫しており、また保護者への伝達は、口頭のみでなく、書面やLINE、動画などを用いる場合もあります。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	3	2	地域の自治会に加入しており、自治会の主催する行事に参加させて頂いており、地域の方との交流の機会が持てるようにしています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		それぞれのマニュアルを作成し、毎年、避難訓練を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCPを策定し、非常災害の発生に備え、非常用バッグの中身を点検したり、避難訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		契約時に服薬やてんかん発作等の確認はしております	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		食物アレルギーがあるこどもは、職員間で共有し、見えるところに詳細を貼り付け、周知しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		たえず、危険なものがないか、確認し修繕が必要な個所は、迅速に対応するようにしています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		契約時に緊急連絡先やかかりつけ医、提携医療機関等の説明をして周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット事例集を作成しており、危険を予測した柔軟に対応できるよう、職員間で周知しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		毎年、事業所外での虐待研修を受講した職員が、法人内の職員全体に向けて研修を行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		毎年、法人内研修の際に身体拘束についての研修を行い、事業所内でもその都度、確認している。保護者へは、契約時に説明しています	